



浅野純子 (あさの じゅんこ)

福島県出身。1977年第21回全東北ピアノコンクール第1位、文部大臣賞受賞。1984年東京音楽大学ピアノ演奏家コースを優等賞を受賞して卒業。ポーランド給費留学生としてワルシャワ・ショパン音楽院マスターコースに留学。1986年帰国。仙台、東京にてリサイタルを行う。1990年ワルシャワにてリサイタル。1994年ポーランド・カリシフィルオーケストラと協演。1992年、1995年、1997年仙台でリサイタル開催。1999年ポーランド・クラクフ日本美術技術センターにてショパン没後150年記念リサイタルを開催。同年東京オペラシティでショパンリサイタルを行う。2002年、2004年、2007年、2010年仙台、東京にてリサイタルを開催。これまで八島幸男、三浦浩、斉藤久子、井口愛子、関根有子、A・ステファンスキの各氏に師事。

2008年全日本ピアノ指導者協会特別指導者賞受賞。2011年、2012年、2014年同協会指導者賞受賞。全日本ピアノ指導者協会正会員。その他様々なコンクールの審査員を務める。現在演奏活動を行うと共に後進の育成にも力を注いでいる。2012年有志団体AKTを立ち上げ、(一財)国際セラビードッグ協会に協力。チャリティーコンサートにも取り組んでいる。宮城教育大学非常勤講師、常盤木学園高等学校音楽科非常勤講師。

坂本知穂 (さかもと ちほ)

岩手県花巻市出身。3歳より正時堂ヤマハ音楽教室にてピアノを始める。桐朋女子高等学校音楽科、同大学音楽学部演奏学科を卒業、ポーランド国立ワルシャワ・ショパン音楽院(現ショパン音楽大学)研究課程を最優秀で修了。これまでに松田真由美、浅野純子、奥村洋子、藤井一興、大野眞嗣、A・ステファンスキ、T・シェパノワの各氏に師事。また R・スメンジャンカ、D・ヨッフエ各氏からも薫陶を受ける。「Citta di Barletta」国際音楽コンクール第1位及びショパン特別賞、Raconigi 国際音楽コンクール第3位ほか受賞。音楽評論家 Josef Kanski 氏より『素晴らしいテクニックだけでなく、同様に感受性豊かな音楽の色彩感と成熟した解釈で魅了させる』、『フェスティバルでの本当の発見である』としてポーランド音楽誌に紹介される。第二次大戦時のポーランドでの実話を基に作られたパントマイムとのコラボレーション作品『木は全て見ていた〜パヴィヤクの日本人形〜』はメディア(TVP、NHK)で紹介されたほか、パヴィヤク博物館開館40周年記念式典にて公演、2010年に同博物館より感謝状を授与されている。音楽祭、愛知万博ポーランド館ショパン演奏会、NHK FM「名曲リサイタル」出演など演奏活動を続けると共に、後進の育成にも力を注ぐ。2014年ショパン国際ピアノコンクール inASIA 指導者賞受賞。全日本ピアノ指導者協会正会員。



会場のご案内

花巻市文化会館

岩手県花巻市若葉町3丁目16-22

TEL: 0198-24-6511

■ JR花巻駅より車で約6分。徒歩約20分。

■ お車の場合

「花巻南IC」より約5分。

IC出口を左折→突き当りの交差点を左折→滝の沢交差点(5差路)を直進(石神町方面)→「文化会館入口」の看板を目印に左折。坂をのぼると右側に駐車場があります。

